

2010年ワールドカップ南アフリカ大会™
1次リーグE組の日本戦開催都市の見どころ



South Africa

It's Possible
www.south-africa.jp



日本対カメルーン戦

2010年6月14日 16:00 キックオフ (日本時間: 6月14日 23:00)

フリーステート州ブルームフォンテン (マンガウン)

気候: 6月の平均気温 (最高/最低): 17°C/-2°C、降雨量: 12ミリ



ゴールデンゲート・ハイランド国立公園

最高裁判所が置かれる南アフリカの司法首都でフリーステート州の州都でもあるブルームフォンテンは、街中にあるキングス・パーク (King's Park) に4,000本以上のバラの樹が植えられていることから「バラの街」の愛称で知られている。スポーツファンが多いことでも評判で、大型テレビが設置されたバーやパブを簡単に見つけることができる。南アフリカでしか味わえないビルトン (Biltong) と呼ばれるビーフやチキン、オーストリッチ、バッファローのジャーキーと南アのビールはぜひ試しておきたい。



Bloemfontein/Mangaung
フリーステート・スタジアム

レストラン

ブルームフォンテンでのおすめは、なんといっても昔ながらの南アフリカ産ステーキ。中心部にはステーキハウスが数多くあり、ハンバーグやスペアリブなどのメニューも揃っており、南アフリカで最高のステーキが味わえる。またロック・ローガン・ウォーターフロント (Loch Logan Waterfront) にはコーヒーショップやデリ、イタリアンからなんと寿司バーまで、数多くの飲食店が揃っている。

ショッピング

街中でのショッピングならブルーム・プラザ (Bloem Plaza) やミデスタッド・センター (Middestad Centre) が便利。生鮮食品からローカルファッション、アフリカの伝統手工芸品などお買い得な商品が豊富に揃っている。またロック・ローガン・ウォーターフロント (Loch Logan Waterfront) にもライフスタイル雑貨から衣料品、コスメ、デザイナーズ・ブランド、スポーツ用品など100軒以上の専門店が並んでいる。

歴史・文化遺産

ブルームフォンテンには数多くの歴史・文化遺産が点在している。以下にいくつか代表的なものを紹介しておく。

- シティ・ホール (City Hall)
- 旧大統領府 (The Old Presidency)
- ツイン・スパイア教会 (Twin Spire Church)
- 国立博物館 (The National Museum)
- チョエ・ヴィセール・ラグビー博物館 (The Choet Visser Rugby Museum)

公園

花の源 (A spring of flower) を意味するブルームフォンテンの愛称は「バラの街」。キングス・パーク (King's Park) のバラ園には4,000本以上のバラの樹が植えられている。ここでは毎月定期的にアート・マーケットも開催される。またステート・プレジデント・スワート・パーク (The State President Swart Park) は、スポーツを楽しむ人々の憩いの場として親しまれている。

耳寄り情報

- タウンシップ・トゥーステップ (Township Two-Step) によるタウンシップへのツアーでは、ジャズクラブやシェベーン (Shebeen) と呼ばれるカジュアルなバーなどで賑やかなブルームフォンテンの夜を楽しむことができる。アフリカならではの地ビールもお試しあれ。
- ぜひ味わってほしい食べ物も、バーベキュー・ソーセージ「ブルボス (Boerewors)」」。南アフリカではバーベキューを「ブライ (Braai)」と言う。南アフリカ人の大好物。

- おみやげの「ぜひモノ」は色鮮やかな毛布に代表されるバント族の伝統手工芸品。

- 大会期間中のファンパークはロックランド (Rocklands) のマンガウン・アウトドア・スポーツセンターに開設される。収容人数は約30,000人でフリーステート州の特色を生かした様々なアトラクションが予定されている。

周辺エリアの見どころ

- ゴールデンゲート・ハイランド国立公園 (Golden Gate Highlands National Park)
- バント・カルチャー・ビレッジ (Basotho Cultural Village)
- ガリープ・ダム (Gariep Dam)
- クラレンス (Clarence)
- サン族の岩絵 (San Rock Art)



国立博物館 (The National Museum)

その他のおすすめ情報

市内や近郊で体験したいのはエコツーリズム。代表的なスポットを以下に紹介しておく。

- マリア・モラカ保護区 (Maria Moraka Reserve)
- ラストフォンテン・ダム自然保護区 (Rustfontein Dam Nature Reserve)
- ブルームフォンテン・オーキッド・ハウス (Bloemfontein Orchid House)
- フランクリン動物保護区 (Franklin Game Reserve)
- ソエトドリング自然保護区&プレデター・パーク (Soetdoring Nature Reserve and Predator Park)



日本対オランダ戦

2010年6月19日 13:30キックオフ (日本時間:6月19日 20:30)

クワズール・ナタール州ダーバン

気候:6月の平均気温(最高/最低):23℃/11℃、降雨量:28ミリ



ダーバンのビーチフロントの夜

晴れる日が年間約320日で冬でも平均気温20度以上という温暖な気候に恵まれたダーバンでは、ビーチでのんびりと心地よい太陽の日差しを楽しみたい。おすすめスポットはブルーラagoon (Blue Lagoon)、ノースビーチ (North Beach)、サウスビーチ (South Beach)。ダーバンからインド洋沿いに北上、または南下するとさらに美しいビーチが点在している。



Durban
モーゼス・マビダ・スタジアム

ナイトライフ

ダーバンを代表する繁華街といえばゴールデンマイル (Golden Mile) で、パブやレストランが軒を連ねている。陽気に賑やかな夜を楽しみたいという方にはフロリダ通り (Florida Road) がおすすめ。深夜まで営業するレストランやパブも多く、独特のリズムと雰囲気か体感できる。ここではダーバンの陽気なロコ達に交じって楽しくワイワイと過ごしたい。

レストラン

家族や友人など大勢でカジュアルに楽しめるお店から、南アフリカ有数のシーフード店 (インド洋で穫れたエビやカラマリ、イワシのグリルは最高!) など、ダーバンではグルメスポットに事欠かない。中でも本格的インド料理レストランのカレーは絶品で一度は試しておきたい。

ウシャカ・マリンワールド (UShaka Marine World)

世界有数のマリンパーク。多様な魚が泳ぐ水槽、イルカ水族館、ダイビング用の水槽をはじめ、アドレナリンが湧き出てくるウォータースライダーや乗り物など豊富なアトラクションが楽しめる。実際に座礁した船の貨物室をそのまま再利用したレストランでは巨大な水槽内を大迫力で泳ぐサメを横目に食事を満喫できるが、心臓に自信のない人には向いていないかも?

ショッピング

ダーバンには多くのショッピングセンターが点在している。中でも充実しているのがビーチリゾートとして人気のウムシュランガ (Umhlanga) にあるゲートウェイ・センター (Gateway Centre)。この大型モールにはデザイナーズ・ブランドからスポーツ用品をはじめ、見つからないものはないほど多数のショップが揃っている。他にもパビリオン (The Pavillion)、ワークショップ (The Workshop)、ラルシアモール (La Lucia Mall) などが代表的なショッピングスポットとして挙げられる。庶民的な地元雰囲気を楽しみたいならグレイ・ストリート (Grey Street) やワーウィック・トライアングル・マーケット (Warwick Triangle Markets) に足を運んでみるといい。

スパ

クワズール・ナタール州には日常の疲れを癒すのもってこいの、アフリカン・スタイルのスパ施設が数多く存在する。スパ好きの女性なら一度は体験したい。ブッシュ・スパでは大自然が奏でる音とともに、アフリカの伝統が受け継がれたトリートメントで心身を癒せる。

耳寄り情報

●インド料理店で試したいメニューはバニー・チャウ (Bunny Chow) というダーバン風カレーパン。

●おみやげで喜ばれること請け合いなのはズールー族の伝統的なビーズ手工芸品。

●温暖な気候と美しいビーチに恵まれたダーバンのファンパークは大会期間中に最も賑やかに盛り上がると言われている。会場として予定されているのはビーチフロント。アフリカ大陸で史上最大規模のビーチ&サッカーパーティーが繰り広げられる。

●毎冬、クワズール・ナタール州の南沿岸部では冷たい大西洋から暖かいインド洋へと移動する数百万匹のイワシの大群を観賞することができる。この現象はサーディン・ラン (Sardine Run) と呼ばれ、サメやイルカがイワシの魚群を襲う様子を襲う自然が織りなす幻想的なドラマといっても過言ではない。

●ワールドカップ大会中とその前後の期間には、南アフリカ有数の競馬の重賞レースであるヴォーダコム・ダーバン・ジュライ (Vodacom Durban July) をはじめ、波・砂浜・海・空の祭典としてヒップに盛り上がるダーバン・ビーチ・アフリカ・フェスティバル (Durban Beach Africa Festival) やアフリカにおけるサーフィンのグランドスラム大会であるミスター・プライス・プロ (Mr. Price Pro)、世界で最もタフな鉄人レースとして知られるコムラズ・マラソン (Comrades Marathon) など注目イベントも目白押し!

周辺エリアの見どころ

- イシマンガリソ湿地公園 - 世界遺産 (The iSimangaliso Wetland Park)
- シュルシュルウェ・イムフォロジ動物保護区 (Hluhluwe/Imfolozi Game Reserve)
- ウカジャンバ・ドラケンスバーグ国立公園 - 世界遺産 (Ukhahlamba Drakensberg National Park)
- ミッドランド・ミーナダー (The Midland Meander)

その他のおすすめ情報

エキサイティングなアドベンチャー体験スポットを以下に紹介しておく。

- ナタール・シャークス・ボード (Natal Sharks Board) で行くインド洋上のポートトリップ
- アリワル沖 (Aliwal Shoal) でのタイガーシャークとのスキューバダイビング
- 複葉飛行機でのダーバン上空ツアー
- ドラケンスバーグ (Drakensberg) の凍てつく滝へのハイキング
- はてしなく続く平原上空でのパラグライダー体験



日本対デンマーク戦

2010年6月24日 20:30 キックオフ (日本時間: 6月25日 3:30)

ノースウエスト州ラステンバーク

気候: 6月の平均気温 (最高/最低): 16°C/4°C、降雨量: 12ミリ



サンシティのロストシティ

ノースウエスト州にそびえるマハリスバーク (Magaliesberg) 山脈の西側のふもとに位置するラステンバークは「休息の街」(Town of rest) を意味する。標高1,000メートルを超える高原地帯にあるが、冬でも日中は比較的暖かくさわやかな気候に恵まれている。南アフリカを代表する巨大リゾート施設、サンシティ (Sun City) がほど近くにあり、動物保護区でのサファリやゴルフ、ウォータースポーツなどが楽しめる。ここでは南アフリカならではのおもてなしは、まるで家族を迎えるかのように心暖まる。



Rustenburg
ロイヤル・パフオケーン・スタジアム

ナイトライフ&エンターテインメント

ラステンバークは都会の喧噪とは無縁の静かなカントリータウン。夜の賑わいを体験する場所はないに等しいが、ウォーターフォール・モール (Waterfall Mall) には人気のレストランチェーン店やコーヒーショップ、バーなどが揃っている。このエリアでエンターテインメントを楽しみたいなら、市内から50キロメートルほどのサンシティがベストと言える。

レストラン

ウォーターフォール・モール (Waterfall Mall) ではシーフード、ピッツェリア、ステーキハウス、バーガーショップなどが集まっているが、サンシティへと足を延ばして食事や各種エンターテインメントを楽しむ、というのがラステンバーク訪問者の定番と言える。

サンシティ (Sun City)

南アフリカのラスベガスと言えば、ここサンシティ。エンターテインメントの都とも呼ばれる巨大なリゾート施設内では本格的カジノをはじめアクションバーやシアターショー、高級ナイトクラブ、深夜まで音楽が楽しめる施設など数えられないほど多彩なアトラクションが繰り広げられている。敷地内には18ホールのチャンピオンシップコースが2カ所あり、暖かな太陽の下でアフリカならではのゴルフ体験を堪能できる。ロスト・シティ (Lost City) 内のウォーターテマパークもサンシティを代表するアトラクションに挙げられる。

耳寄り情報

- 車で2時間ほどの場所にあるフレデフォート・ドーム (Vredefort Dome) は、20億年前に落下したといわれる巨大隕石の衝突跡。隕石の大きさはテーブル・マウンテンに匹敵すると推測されており、衝突の跡は直径40キロメートルにもおよぶ。地質学的にも貴重な出来事であることから2005年に世界遺産に登録されている。
- タウン・ヘリテージ・サイト (Taung Heritage Site) は、200年前の子供の頭蓋骨の化石が発掘された場所。人類の起源を解明するパズルを解く上で重要な発見となり、人類の祖先はアフリカで誕生したという説の裏付けとなった。
- ぜひ試したい食事は満天の星空の下、動物の鳴き声とともに楽しむ伝統的なボマ・ビュッフェ (Boma Buffet)

- おみやげのおすすめはアフリカ版ムーンシャイン (地酒) とも呼ばれる桃ベースのブランデー、ママポエ (Mampoer)
- 交通アクセスの拠点のほど近く、オリンピア・パーク側にフィールド・プライマリー・ファンパーク (Fields Primary FIFA Fan Park) が設けられる。大学のキャンパスに大規模な改修を施しファンパーク会場として利用する。
- 南アフリカを代表する作家の一人、ハーマン・チャールズ・ボスマン (Herman Charles Bosman) を輩出した町として知られるグルート・マリコ (Groot Marico) への文学に触れる小旅行。
- サンシティにある究極の絶叫スライダー、Pronutro Zip 2000。滑車付きのロープに吊られた状態で山の上から一気に滑り降りるジップライド (Zip Ride) としては世界最長を誇る。いかにも南アフリカらしい冒険的な乗り物アトラクション。

周辺エリアの見どころ

- ピーランズバーク動物保護区 (Pilanesberg Game Reserve)
- マディクエ動物保護区 (Madikwe Game Reserve)
- ハートビースポート・ダム (Hartbeespoort Dam)
- マハリス・メアンダー (The Magalies Meander)
- ラステンバーク自然保護区 (Rustenburg Nature Reserve) など

その他のおすすめ情報

- サンシティにある人工ビーチ&プール、波が織りなす谷 (Valley of the Waves)。波の出るプールや絶叫まちがいなしのウォータースライダーで幼心を取り戻す
- デ・ヴィルド・チーター&ワイルドライフ・センター (De Wildt Cheetah and Wildlife Centre) への訪問
- ピーランズパーク国立公園でのエレファント・バック・ライド・サファリや上空を熱気球から眺めるホットバルーンサファリ



開幕戦：南アフリカ対メキシコ

2010年6月11日 16:00キックオフ (日本時間：6月11日 23:00)

ハウテン州ヨハネスブルグ

気候：6月の平均気温 (最高/最低)：16℃/4℃、降雨量：9ミリ

アフリカ最大の玄関口で700万人以上が暮らす南アフリカのビジネス & エンターテインメントの中心地、ヨハネスブルグ。ジョーバーグ (Jo'burg) やジョージ (Jozi)、エグリ (Egoli) の愛称で親しまれるこの街では南アフリカの公用語全11種類を耳にすることができる。市内には計600万本の樹木が植えられていることから都会の森 (Urban Forest) とも称される。1886年の金鉱発見をきっかけに経済の中心地として発展を遂げたことから金の街 (The City of Gold) としても知られる。エンターテインメントの中心地であるヨハネスブルグでは活気に溢れたナイトライフも魅力に挙げられ、街のいたるところでジャズ、ロック、ポップス、クワイート、ヒップホップ、ハウスなど多彩なジャンルの音楽とともに南アフリカならではのリズムが楽しめる。1994年に終焉を迎えたアパルトヘイトの歴史に触れることができる博物館などはニュータウン、コンステーション・ヒル、ソウェトに点在。また260万年前の成人女性の頭蓋骨 (ミセス・プレス) など、人類の進化の歴史を知る上で重要な手がかりとなる化石の発掘が相次ぐスタークフォンテンとその周辺エリアは人類のゆりかご (The Cradle of Humankind) と称される世界遺産で、市内から北西約30キロメートルに位置している。ヨハネスブルグ周辺には2010年FIFAワールドカップ南アフリカ大会™の試合会場となる3つのスタジアムが点在。サッカー・シティーでは開幕戦と決勝戦など計8試合、エリスパークでは準々決勝1試合を含む計7試合、そしてプレトリア/ツワネのロフタス・ヴァースフェルドでは計6試合の合計21試合が開催される。これは南アフリカ大会で催される全試合の約3分の1に相当する。



夜のサントンの街並み

ソウェト

アフリカで史上最高のサッカー・パフォーマンスは、ソウェトのサッカー・シティでキックオフを迎える。南アフリカ最大のタウンシップ (旧黒人居住区) には古くより熱狂的なサッカーファンが多く存在し、ワールドカップ南アフリカ大会の拠点となることはまちがいない。ソウェトではレストランやバーを訪れてみるのももちろん、マンデラ・ハウス・ミュージアム (Mandela House Museum) やヘクター・ピーターソン博物館 (Hector Pieterson Museum)、そしてネルソン・マンデラ (Nelson Mandela) とデズモンド・ツツ司教 (Archbishop Desmond Tutu) という2人のノーベル受賞者を輩出したフィラカジ・ストリート (Vilakazi Street) などにも足を運んでみたい。

ショッピング

アフリカ大陸で最大級のショッピングモールが建ち並ぶヨハネスブルグには、アート・ギャラリー、フリー・マーケット、オーガニック・マーケット、ファクトリー・ショップなども数多く存在する。おすすめはサントン・シティ (Sandton City) のネルソン・マンデラ・スクエア (Nelson Mandela Square) やイーストゲート (Eastgate)、サウスゲート (Southgate)、ローズバンク (Rosebank) のクラフト・マーケット (Craft Market)、ソウェトのマポーニャ・モール (Maponya Mall) など。

宿泊施設

5つ星の最高級ホテル、タウンシップのB&B (bed & breakfast)、ゲストハウス、自炊式のアパート、ゲストロジック、プチックホテル、格安レンタルルームなど様々な施設が存在している。

スパ

市内と周辺エリアには極上のスパ施設がある。贅沢したいならアフリカン・デイ・スパ (African Day Spa) で一日を過ごし、アフリカンな雰囲気の下で自分へのごほうびを体験してみたいかがだろう。また車で一時間ほどの移動で素晴らしいカントリー・スパ (Country Spa) 体験を味わえる施設も数多くある。

スタジアム情報

- サッカー・シティ (Soccer City)：アフリカ産カラバシユ (ひょうたん) をモチーフとしたデザインとともに全面的な改修工事でより生まれ変わった95,000人収容のスタジアム。開幕戦と決勝戦の会場。
- エリスパーク (Ellis Park)：ヨハネスブルグの中心部に位置する有名なスタジアム。一回戦の5試合と2回戦1試合、準々決勝の1試合が開催される。

- オーランド・スタジアム (Orland Stadium) - 番外編：ワールドカップの開幕前夜午後8時、ソウェトにあるオーランド・スタジアムではアフリカ大陸初のワールドカップ開催を祝う「キックオフ・セレブレーション・コンサート」が3時間にわたって催される。音楽とサッカーの祭典となる記念すべきコンサートにはアフリカのアーティストをはじめ国際的ミュージシャン、さらには新旧の名サッカープレイヤーの出演も予定されている。このコンサートの模様は世界各国でテレビ放映される予定。

耳寄り情報

- 一度は試したい食べ物にはチャカラカ・ソースで味わうパップとニヤマ (Pap and nyama with chakalaka sauce)。
- おみやげのおすすめはワイヤー・アート (Wire art: 針金で作られた手工芸品)。路上でも多く売られているほか、乗っている車の窓越しでも買える。
- FIFAの公式ファンパークはメリー・フィッツジェラルド・スクエア (Mary Fitzgerald Square) に開設。またサントン (Sandton) のイネスフリー・パーク (Innesfree Park) やクリップタウン (Kliptown) のウォルター・シスル・スクエア (Walter Sisulu Square) にもパブリックビューイング会場が設けられる。さらにモンテカシノ (Montecasino) やコココーラドーム (Coca-Cola Dome) にも民間のサポーター向け施設が予定されている。

周辺エリアの見どころ

- 人類のゆりかご (The Cradle of Humankind) - 世界遺産
- サイとライオンの自然保護区 (The Rhino and Lion Nature Reserve)
- マハリスバーグ (Magaliesberg)
- ディノケン (Dinokeng)

おすすめアドベンチャー情報

- ソウェトにそびえ立つカラフルな冷却塔からのバンジー (bungee)、パワー・スイング (power swing)、懸垂下降 (abseil) といった絶叫アトラクション体験。
- ビッツ・スペシャル・フライト (Pitts Special flight) でのアクロバット飛行体験。
- スタークフォンテン洞窟 (Sterkfontein Cave) 近辺の洞窟探索
- 鉱山跡地の砂山でのサンドボード (Sandboard)
- ゴールドラッシュで賑わう19世紀末の街並が再現されたゴールド・リーフ・シティ (Gold Reef City)